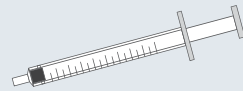
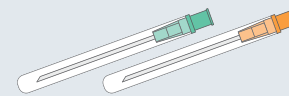


準備するもの

ヌーカラ
皮下注用100mgヌーカラは、用時溶解して用いる
注射用凍結乾燥製剤です。◆凍結を避けて遮光し、
冷蔵庫(2~8℃)で保存してください。

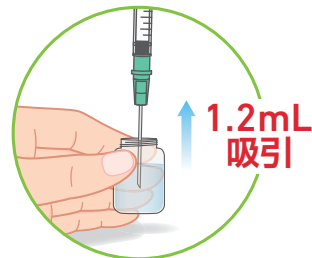
+

日局
注射用水2~3mLの
ポリプロピレン
注射筒×1本
(注射用水注入用、投与用)21ゲージの注射針
×1本
(注射用水注入用)21~27ゲージの注射針
×1本
(投与用)消毒用
アルコール綿重症喘息※患者に対しては1セット、
EGPA#患者に対しては3セットを
各施設でご用意ください。ヌーカラは、用時溶解してくだ
さい。ヌーカラの投与は、皮下
注射とし、静脈内または筋肉内
注射は行わないでください。

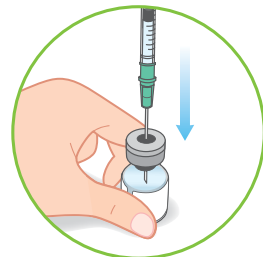
調製方法

1 冷所より取り出します

ヌーカラ皮下注用100mgは調製まで冷蔵庫(2~8℃)で保存します。

2 バイアルのキャップのみを外して、
ゴム栓部分をアルコール綿で拭いてください3 溶解用の日局注射用水を
吸引します2~3mL注射筒に21ゲージの注射針を装着し、
日局注射用水1.2mLを吸引します。

4 バイアルに注入します

バイアルを立てた状態で、日局注射用水を粉末
の中心に向けて垂直に注入します。
注入後は注射針と注射筒をバイアルから外し
ます。

5 静かに回転させ溶解します

バイアルをまっすぐに立て、室温で10秒間静かに円を描くように回転
させたのち、5秒間静置します。再度、本剤が溶解するまで10秒間静
かに回転させ、5秒間静置する動作(計15秒間)を繰り返してください。注)泡立ちや沈殿が生じるおそれがあるため、操作中にバイアルを
振らないでください。
通常は、日局注射用水を加え5分以内に溶解しますが、追加時間
を要することもあります。

6 溶解後は以下の点に注意してください

溶解後の薬液を他の医薬品と混合しないでください。
目視により、粒子物質がなく透明であることを確認してください。
溶解後の薬液は、無色~微黄色または微褐色の澄明または乳白光を呈します。溶解後の薬液
(透明な状態)

7 溶解後、ただちに使用しない場合

- 溶解後、ただちに使用しない場合は、30℃以下の遮光した状態で保存し、
8時間以内に使用してください。
- 8時間以内に使用しない場合は廃棄してください。
- 凍結させないでください。

投与方法

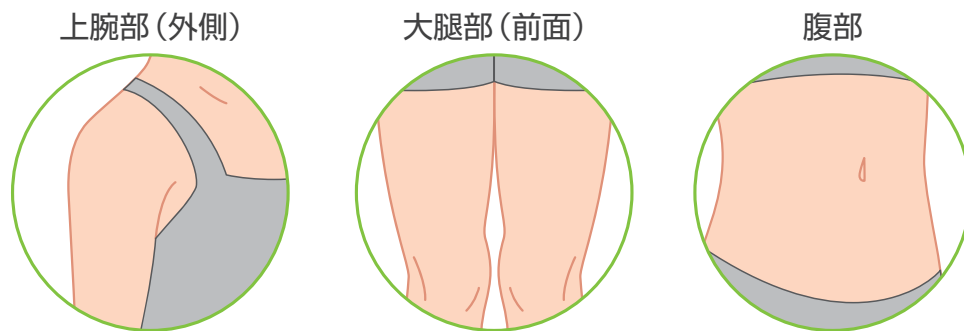
1 薬液を採取します

注射筒に装着した21~27ゲージの注射針を逆さまにしたバイアルに挿入し、**薬液1mL** [メボリスマブ(遺伝子組換え)100mgに相当]を採取します。

◆重症喘息※患者に対しては1本、EGPA#患者に対しては3本をご用意ください。

- 使用前に目視により、粒子物質がなく透明であることを確認してください。
- 泡立ちが生じるおそれがあるため、操作中に薬液を振らないでください。

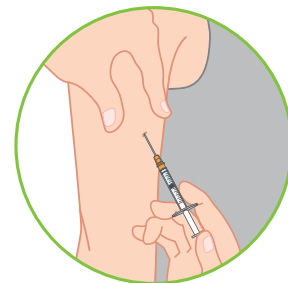
2 注射部位を確認します



3 皮下注射します

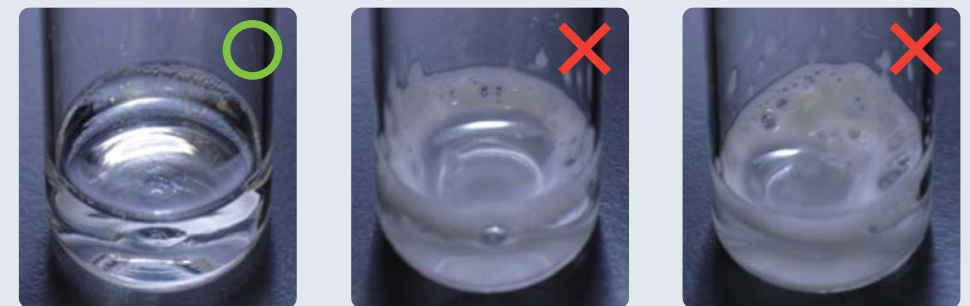
アルコール綿などで注射部位を拭き、皮下注射します。

EGPA患者に100mgずつ3カ所に投与する際の各注射部位は5cm以上離してください。



Q 調製後のヌーカラはどのような外観ですか？
また、薬液の泡立ちがどの程度であれば投与可能ですか？

A 調製後、薬液は粒子物質のない無色~微黄色または微褐色の透明な液体になります。小さな泡立ちが見られることがありますが、数分間静置することで消失し、投与しても差支えありません。薬液に粒子やにごりが見られたり、白色を呈している場合は溶解が不十分ですので、5秒おきに10秒間バイアルを回転させ、さらに溶解操作を続けてください。



Nucala

製造販売元

グラクソ・スミスクライン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先
TEL : 0120-561-007 (9:00~17:45 / 土日祝日及び当社休業日を除く)
FAX : 0120-561-047 (24時間受付)

【効能・効果】 ※気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る)
#既存治療で効果不十分な好酸球性多発血管炎性肉芽腫症